【令和5年　11月度】

○浜北環境センター維持管理の状況に関する情報

施設区分　一般廃棄物最終処分場

■埋立一般廃棄物の種類及び数量

対象期間　令和5年11月1日～令和5年11月30日

廃棄物の種類	処理量	単位
焼却灰	0	t／月
不燃破砕物	0	t／月
側溝汚泥	0	t／月
脱水汚泥	0.42	t／月
計	0.42	t／月

■残容量調査（測量データ）

単位　㎥

調査年月	最終覆土量	残廃棄物量	合計
平成31年3月	11,693	20,040	31,733
令和2年3月	11,693	19,866	31,559
令和3年3月	11,693	19,764	31,457
令和4年3月	11,693	19,572	31,265
令和5年3月	11,693	19,479	31,172

■施設の点検

対象期間　令和5年11月1日～令和5年11月30日

	擁壁等	遮水工	雨水調整池	浸出水処理施設	防凍措置
点検実施年月日	令和5年10月30日	令和5年10月30日	令和5年10月30日	令和5年10月30日	該当なし
点検方法	目視	遮水機能診断システム	目視	目視等	該当なし
異常等の有無	無	無	無	無	
点検結果に係る措置	無	無	無	無	

■水質検査の実施状況と措置

対象期間　令和5年11月1日～令和5年11月30日

採取場所	観測井戸NO.1（上流）	観測井戸NO.2（下流）	観測井戸NO.3（公園）	処理水槽	処理水槽
採取種類	地下水	地下水	地下水	放流水	放流水
採取年月日	令和5年11月10日	令和5年11月10日	令和5年11月10日	令和5年11月10日	令和5年11月20日
検査結果取得年月日	令和5年11月30日	令和5年11月30日	令和5年11月30日	令和5年11月30日	令和5年11月30日
電気伝導度	6.6mS/m	12.9mS/m	5.1mS/m		
水素イオン濃度	5.7	6.2	6.3	7.8	7.9
BOD				0.5mg/l未満	0.5mg/l未満
SS				1mg/l	1mg/l未満
鉱物油類				0.5mg/l未満	0.5mg/l未満
動植物油類				0.5mg/l未満	0.5mg/l未満
よう素消費量				1mg/l未満	1mg/l未満
判定	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし

○浜北環境センター維持管理の状況に関する情報

付表1.放流水採水結果全項目(4回/年)

mg/L

水質検査項目	放流水				原水	基準値
	R5.5.8	R5.8.21	R5.11.10		R5.11.10	(以下)
pH	8.2	8	7.8		8.2	5.8～8.6
BOD	<0.5	<0.5	<0.5		1	60
COD (Mn)	5.5	3.3	3.5		7.4	—
SS	<1	<1	<1		1	60
不揮発性鉱物油類	<0.5	<0.5	<0.5		<0.5	5
不揮発性動植物油脂類	<0.5	<0.5	<0.5		<0.5	30
よう素消費量	5	3	<1		2	220
DO	—	—	—		—	—
大腸菌群数	—	—	—		—	—
カドミウム及びその化合物	<0.003	<0.003	<0.003		<0.003	0.03
シアン化合物	<0.1	<0.1	<0.1		<0.1	1
有機燐	<0.1	<0.1	<0.1		<0.1	1
鉛及びその化合物	<0.01	<0.01	<0.01		<0.01	0.1
六価クロム	<0.04	<0.04	<0.04		<0.04	0.5
砒素及びその化合物	<0.01	<0.01	<0.01		<0.01	0.1
総水銀	<0.0005	<0.0005	<0.0005		<0.0005	0.005
アルキル水銀化合物	<0.0005	<0.0005	<0.0005		<0.0005	ND
ポリ塩化ビフェニル	<0.0005	<0.0005	<0.0005		<0.0005	0.003
フェノール類含有量	<0.05	<0.05	<0.05		<0.05	5
銅含有量	<0.1	<0.1	<0.1		<0.1	3
亜鉛含有量	<0.1	<0.1	<0.1		<0.1	2
溶解性鉄含有量	<0.1	<0.1	<0.1		<0.1	10
溶解性マンガン含有量	<0.1	<0.1	<0.1		<0.1	10
クロム含有量	<0.04	<0.04	<0.04		<0.04	2
ほう素及びその化合物	<0.1	<0.1	<0.1		<0.1	10
ふっ素及びその化合物	<0.1	<0.1	<0.1		<0.1	8
トリクロロエチレン	<0.01	<0.01	<0.01		<0.01	0.1
テトラクロロエチレン	<0.005	<0.005	<0.005		<0.005	0.1
ジクロロメタン	<0.02	<0.02	<0.02		<0.02	0.2
四塩化炭素	<0.002	<0.002	<0.002		<0.002	0.02
1,2-ジクロロエタン	<0.004	<0.004	<0.004		<0.004	0.04
1,1-ジクロロエチレン	<0.02	<0.02	<0.02		<0.02	1
シス-1,2-ジクロロエチレン	<0.04	<0.04	<0.04		<0.04	0.4
1,1,1-トリクロロエタン	<0.005	<0.005	<0.005		<0.005	3
1,1,2-トリクロロエタン	<0.006	<0.006	<0.006		<0.006	0.06
1,3-ジクロロプロペン	<0.002	<0.002	<0.002		<0.002	0.02
チウラム	<0.006	<0.006	<0.006		<0.006	0.06
シマジン	<0.003	<0.003	<0.003		<0.003	0.03
チオベンカルブ	<0.02	<0.02	<0.02		<0.02	0.2
ベンゼン	<0.01	<0.01	<0.01		<0.01	0.1
セレン及びその化合物	<0.01	<0.01	<0.01		<0.01	0.1
窒素含有量	11	2.5	2.5		2.4	—
アンモニア性窒素	3.5	0.03	0.05		1.2	—
硝酸性窒素	3.7	1.7	1.7		<0.2	—
亜硝酸性窒素	1.1	<0.02	<0.02		<0.02	—
アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	6.2	1.7	1.7		0.5	200
塩化物イオン	—	—	410		350	—
1,4-ジオキサン	<0.05	<0.05	<0.05		<0.05	0.5

○浜北環境センター維持管理の状況に関する情報

令和5年11月10日　　付表2.地下水及び周辺河川水質検査結果（1回/年）　　mg/L

水質検査項目	地下水			灰ノ木川表流水		基準値（以下）
	井戸NO.1	井戸NO.2	井戸NO.3	上流	下流	
pH	−	−	−	7.8	7.7	6.5～8.5
BOD	−	−	−	<0.5	0.5	[illegible]
SS	−	−	−	<1	1.2	25
不揮発性鉱物油類	−	−	−	−	−	−
不揮発性動植物油脂類	−	−	−	−	−	−
よう素消費量	−	−	−	−	−	−
DO	−	−	−	10.3	9.8	7.5以上
大腸菌群数	−	−	−	1,300	1,700	1000
カドミウム	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.01
全シアン	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	ND
有機燐	−	−	−	−	−	−
鉛	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.01
六価クロム	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.05
砒素	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.01
総水銀	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005
アルキル水銀	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	ND
ポリ塩化ビフェニル	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	ND
フェノール類含有量	−	−	−	−	−	−
銅含有量	−	−	−	−	−	−
亜鉛含有量	−	−	−	−	−	−
溶解性鉄含有量	−	−	−	−	−	−
溶解性マンガン含有量	−	−	−	−	−	−
クロム含有量	−	−	−	−	−	−
ほう素	−	−	−	<0.1	<0.1	1
ふっ素	−	−	−	<0.08	<0.08	0.8
トリクロロエチレン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.002	0.01
テトラクロロエチレン	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.01
ジクロロメタン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02
四塩化炭素	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002
1,2-ジクロロエタン	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	0.004
1,1-ジクロロエチレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.1
シス-1,2-ジクロロエチレン	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	0.04
1,1,1-トリクロロエタン	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	1
1,1,2-トリクロロエタン	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006
1,3-ジクロロプロペン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002
チウラム	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006
シマジン	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003
チオベンカルブ	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02
ベンゼン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01
セレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.01
総窒素	−	−	−	−	−	−
アンモニア性窒素	−	−	−	−	−	−
亜硝酸性窒素	−	−	−	<0.02	<0.02	−
硝酸性窒素	−	−	−	0.3	1.8	−
硝酸性及び亜硝酸性窒素	−	−	−	0.3	1.8	10以下
塩化物イオン	5.3	8.6	3.6	−	−	−
1,2-ジクロロエチレン	<0.004	<0.004	<0.004	−	−	0.004
1,4-ジオキサン	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.05
塩化ビニルモノマー	<0.0002	<0.0002	<0.0002	−	−	0.002

※ ＜ は未満を表す。

※河川表流水の大腸菌については下流にてほぼ同様の数値を示すことから処分場の影響は無いと考えられる。